



成田ともき NEWS ニュース

発行元 生駒市議会議員 成田智樹 〒630-0244 東松ヶ丘7-1-408 TEL/FAX 73-8313

新型コロナウイルス感染症の早期収束を祈念するとともに、エッセンシャルワーカーの皆さまに心からの感謝と敬意を表します。

生駒市議会9月定例会より

生駒市議会9月定例会は、9月2日に開会し、令和元年度決算認定議案8件を含む議案等を審査、審議し、いずれも原案のとおり可決・認定して10月5日に閉会しました。

令和元年度決算について認定

令和元年度の一般会計は、小・中学校のエアコン整備、生駒北学校給食センター設置などを行い、歳出総額は約401億円となりました。実質収支は黒字を維持し、財政状況は安定しています。

期日前投票所増設の協議開始へ

本市の期日前投票所は、市役所本庁舎以外に設置されたことがなく、成田は15年6月の一般質問以後何度も増設を要望しています。

9月18日開催の決算審査特委において、選挙管理委員会事務局から「同委員会にて協議が開始されており、早ければ次回の衆議院選挙から増設する見込みである」との答弁がありました。

桜ヶ丘小通学路安全のための事業が進展

スーパー万代生駒店から東へ狭く危険な坂道が続く市道谷田小明線は、道路の付けかえ・拡幅のための事業が進められています。この道路は桜ヶ丘小の通学路で、成田は多くの保護者から改善してほしいとの声をお聴きし、18年3月の予算委員会以後何度も事業の進捗状況を議会で質問・確認しています。

9月15日開催の決算審査特委では、成田の質問に対し「懸案の地図訂正が完了し23年度完工に向け順調に進んでいる」との答弁がありました。早期実現に向け引き続き全力で取り組みます。



左から山下議員、小紫市長、恵比須議員、成田

生駒市議会公明党（恵比須、山下、成田の各議員）は、11月2日午後、生駒市役所において、小紫市長に「令和3年度予算要望書」を手渡し、主要要望事項の説明及び意見交換を行いました。

新型コロナウイルス禍のなか、感染拡大と社会・経済活動を両立させ、安全・安心を取り戻し、「新しい生活様式」を定着させながらの発展、繁栄に向けて①万全なコロ

ナ対策と適切な支援策の継続及び導入②「重層的支援体制整備事業」の早期実施③小学校低学年からのS N S教育の充実④新婚世帯補助事業の実施⑤期日前投票所の増設など、合計115項目の実現に向けて取り組みよう申し入れました。

小紫市長からは、「公明党がすくい上げた市民の声を真摯に受け止め、前向きに取り組みたいです。」との発言がありました。

生駒市の「新型コロナウイルス感染症」関連情報は市ホームページをご覧ください。

生駒市役所

検索

生駒市長に令和3年度予算要望を提出

新型コロナウイルス感染症対策の継続と社会・経済活動への支援を万全に

成田ともきの議員活動レポート

指定ごみ袋に広告掲載決定

9月17日の決算審査特別委員会において広告収入について質問。昨年12月議会で成田が提案した家庭用ごみ袋への広告掲載について、市内事業者より申し込みがあり、30ℓ袋への広告掲載が決定したとの答弁がありました。（順次切り替わります）



9月定例会一般質問（要旨）
地域共生社会の実現に向けた包括的な支援体制整備について

少

子高齢化や人口減少が進展する中、80代の親が50代のひきこもりの子を養う「8050問題」、介護と子育てを同時に担う「ダブルケア」など複雑化、複合化する課題は、従来の介護、障がい、子育てなど制度ごとの対応では解決が困難な事態となっている。

困りごとを抱える本人と家族を中心とした相談や支援を円滑に行うことを目指す「重層的支援体制整備事業」（下段「用語の解説」参照）が来年度、国からの交付金支給事業として実施される。本市の事業実施に向けての考えを質問した。

問

断らない「相談支援」地域につなぐ「参加支援」などを一体的に行う「重層的支援体制整備事業」の実施意向とその時期についてのアンケートが、厚労省から届いているはずだが本市としての回答は。

答

令和5年度からの実施に向けて検討すると回答した。

問

この事業導入に当たった課題は。メリット、デメリット等はあるか。

答

市は相談業務の大半を市内事業者に委託して実施しているが、本業務は市直営を想定しており、高度なスキルを持つ人材の確保、育成が課題である。メリットは、行政として複合、複雑化した課題に迅速

問

事業実施の力ギは、全体を把握する「多機関協働事業」をどのような組織、人員体制で立ち上げるかである。ぜひ、市長にリーダーシップを発揮してもらいたい。

答

質問を聞き、非常に重要な事業であると認識した。詳細を確認し、体制構築など可能であれば、令和5年開始と言わず前倒しで実施していきたい。

交通事故、通学路安全対策について

問

東生駒でバスによる死亡事故が発生し、地域から不安との声を聞く。再発防止策等対策は。

答

警察など関係者と現場の道路環境について確認した。今後、車両からの歩行者の視認性向上などの対策を検討、実施する。

成田ともきホームページはこちらから

成田ともき

検索



自由自在

公明党は9月27日、党全国大会を開催し、山口那津男代表を再選、新たに石井幹事長、竹内政調会長を選出するなど新たな陣容で出発した◆奈良県においても10月14日、県本部大会を開催し、再選された大田県代表の下、新体制で出発した◆新型コロナ禍という、いまだかつて経験したことのない難局に立ち向かい「大衆とともに」との指針を改めて胸に刻みこみ、勝利のために勇躍前進！（智）

用語の解説

重層的支援体制整備事業

既存の介護、障害、子ども、生活困窮の相談支援等の取組を活かしながら、複雑・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築するもの。全体を統括する「多機関協働事業」により、相談者やその家族を中心とした、制度の垣根を超えた支援が実施できる。すでに250を超える自治体でモデル事業が開始されている。

市立幼稚園、小中学校の再編（統廃合）についての説明会が開催されます！

▽11月21日（土）13時30分～

コミュニティセンター1階文化ホール（どなたでも参加できます）

市政情報